

素敵な9年生を贈る会ができました！

3月5日(金)に9年生を贈る会を行いました。この取組は、清流会執行部が原案を考え、各学級の代表者を集めた代表委員会を開いて提案し、各学級で話し合いをしながら修正して創り上げた子どもたちによる行事です。生徒会執行部は、何回も話し合いをして素敵な内容を計画してくれました。各学年の子どもたちも9年生に贈るための言葉やプレゼントを何日もかけて準備してくれました。また、木龍も色とりどりの飾り付けがなされ、とても華やかな空間になりました。



当日は、矢部清流学園に関する〇×クイズで盛り上がった後、1年生から9年生までの縦割り班で校内ウォークラリーを行い、お題の文字を探し、その文字を9年生につないでもらうと感謝の言葉ができあがる工夫もなされていました。

また、各学年の子どもたちから感謝の言葉とともにプレゼントが渡されました。リズムカルにかわいいダンスを披露したり、元気の出る応援のエールを送ったり、一人ひとりが手作りしたプレゼントを贈ったりしました。

その後の感想発表では、贈る会がとても楽しめたことだったり、9年生に感謝する言葉だったり、9年生を見習って頑張ろうという気持ちなどが語られ、義務教育学校でなければ経験できない、とても素敵な9年生を贈る会でした。

9年生もとても喜んでくれました。中には、感動で目頭が熱くなった子もいました。改めて、矢部清流学園は、とても幸せな学校だと実感しました。

6年生と9年生がGTを招聘して、国際貢献の授業を行いました！

2月25日(木)に6年生と9年生が、国際貢献について考える授業を行いました。ゲストティーチャーのH・Mさんは、S先生の同級生で、海外青年協力隊として中南米の国、ニカラグアで国際貢献をされていました。

今回は、そのときの写真とともに日本とニカラグアの文化や生活の違いと、Hさんが現地でどんな役割を期待され、どんな活動を行ってきたのかなど、その体験の様子を話していただきました。子どもたちは集中して話に聞き入っていました。矢部の地から将来国際貢献に旅立つ子どもたちが育っていくかも知れません。Hさんありがとうございました。



後期課程のディベート大会を開催しました！

2月26日(金)に後期課程の子どもたちによるディベート大会を行いました。令和2年度のお題は、「日本は選挙の棄権に罰則を設けるべきである、是か否か」について肯定派と否定派に分かれてディベートを行いました。ディベートとは、自分たちの主張が相手に勝つように立論を立て、反対尋問を行い、反駁（相手の意見に反対し、その非を論じて攻撃したり、相手から受けた非難攻撃に対して、逆に論じ返したりすること）を繰り返しながらどちらの主張の方に説得力があったかを競うものです。



この取組により論理的思考力（論理的に話す力、批判的思考、聞く力、質問する力等）を高めることがねらいです。今回は、データなどの事実となる資料を準備して臨んだ肯定派が勝利しました。5年生も自分たちの考えをもって参観してくれました。矢部清流学園では、これからの時代を生き抜くために、論理的思考力を高める取組をこれからも続けていきたいと考えています。



今年度最後の前期課程クラブ活動を行いました！

3月3日(水)に今年度最後の前期課程クラブ活動を行いました。本来は、3年生～6年生で行いますが、今回は、1・2年生も一緒に入って、前期課程全員で協力して取り組みました。凧づくりでは、竹ひごで骨組みを作り、ビニールを切り抜いたり絵を描いたりして完成させ、運動場で凧揚げを楽しみました。また、N・Y先生やS先生を中心に、たき火で焼き芋をつくり、みんなでおいしく頂きました。思い出に残るいいクラブ活動ができました。



矢部中PTAOB会一同さんから寄付をいただきました！

平成23～25年度にかけて、矢部中学校PTA有志のみなさん方が矢部まつりを盛り上げ、矢部中学校を支援しようと、石窯で焼いたピザの販売をされていたそうです。その後活動は途絶えましたが、矢部清流学園になったことをきっかけに子どもたちのために活動資金を使ってもらおうという話しを当時の皆さんでされたそうです。その結果、矢部中学校PTAのOB会有志一同として73,124円を寄付して頂きました。有効に使わせて頂きます。ありがとうございました。